

岩手県軽米町

住所	〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米10-85
町長	山本 賢一
HP	https://www.town.karumai.iwate.jp/
バイオマス産業都市選定年度	2019年度
バイオマス産業都市構想	https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/karumai.pdf
担当部署	政策推進課
連絡先 TEL	0195-46-2115（内124）
連絡先 FAX	0195-46-2335

◇岩手県軽米町 バイオマス産業都市構想の概要◇



I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	家畜廃棄物等による堆肥等製造事業	検討中
プロジェクト 2	可燃ごみバイオ固形燃料製造事業	検討中
プロジェクト 3	家畜廃棄物による発電事業	検討中
プロジェクト 4	木質廃棄物等によるバイオガス製造事業	検討中

プロジェクト No.1	家畜廃棄物等による堆肥等製造事業	
実施主体	民間事業者	
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> 堆肥化	
実施体制	設計・施工業者	事業実施者
概要	町内畜産業者からの家畜ふん尿や製材業廃材などを原料として堆肥、肥料製造を行う。	
内容	項目	計画値
	原料：牛ふん 利用量(t/年)	13,200 ※現行の堆肥製造における牛ふん利用量 9,800(t/年)【2023 年度実績値】
	原料：鶏ふん 利用量(t/年)	2,640 ※現行の堆肥製造における鶏ふん利用量 4,600(t/年)【2023 年度実績値】
	原料：間伐材他 利用量(t/年)	759 ※現行の堆肥製造における間伐材利用量 720 (t/年)【2023 年度実績値】
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	堆肥生産量(t/年)	16,500

プロジェクト No.2	可燃ごみバイオ固形燃料製造事業	
実施主体	民間事業者	
利用する技術	☑熱利用 ☑木質チップ・ペレット製造	
実施体制	設計・施工業者	事業実施者選定中
概要	町内から発生する食品系廃棄物（生ごみ）、紙類、プラスチック類等、出荷残さを利用した固形燃料を製造	
内容	項目	計画値
	原料：食品廃棄物 利用量(t/年)	6,270 ※2023年度の食品廃棄物量 賦存量 5,900(t/年)
	原料：未利用材 1 利用量(t/年)	165 ※2023年度の未利用材 1 賦存量 150(t/年)
	原料：未利用材 2 利用量(t/年)	330 ※2023年度の未利用材 2 賦存量 300(t/年)
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	その他（エネルギー利用）	6,930 t /年

プロジェクト No.3	家畜廃棄物による発電事業		
実施主体	(株)十文字チキンカンパニー		
HP	https://www.chicken.co.jp/		
利用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	プラントメーカー	クラボウ	
	設計・施工業者	クラボウ	
概要	鶏ふんを原料としたバイオマス発電等事業		
内容	項目	計画値	実績値（2023年度）
	原料：鶏ふん 利用量(t/年)	141,750	142,728
	発電量(kwh/年)	47,250,000	49,459,000
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input checked="" type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外	

	熱利用（用途） 熱利用量(MJ/年)	586	0
--	-----------------------	-----	---

プロジェクト No.4	家畜・木質廃棄物等によるバイオガス製造事業		
実施主体	民間事業者		
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	設計・施工業者	事業実施者選定中	
概要	家畜ふん尿、製材廃材、圃場残さなどを原料としたメタンガス製造を行う。		
内容	項目	計画値	
	原料:鶏ふん 利用量(t/年)	6,600	
	原料:牛ふん 利用量(t/年)	1,650	
	原料:豚ふん尿 利用量(t/年)	3,300	
	原料: 廃材・圃場残渣他 利用量(t/年)	2,706	
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外	

II 脱炭素化の取組状況や取組方針

II-1 地域における脱炭素に関する計画について

計画名称等	策定年度（選定年度）
地方公共団体実行計画 （区域施策編）	2023年度 https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/sakutei2/03/03501.html
ゼロカーボンシティ宣言	2019年12月 https://www.env.go.jp/content/000277212.pdf

II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

<p>(1) 省エネルギー対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅や建築物におけるZEH・ZEBの導入 ・LED照明や高効率なエアコン、給湯器など ・日常生活、事業活動における省エネルギー行動の推進 <p>(2) 再生可能エネルギーの活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光エネルギー利用システムの普及推進

- ・再生可能エネルギーを利用した街灯を設置
 - ・太陽光発電所 6 か所、風力発電所 2 か所、バイオマス発電所 1 か所を誘致
- (3) 地球温暖化対策の推進
- ・ごみ資源化の推進
 - ・森林保全の促進
 - ・公共交通機関の利用促進
 - ・電気自動車の利用促進

II-3 2030 年度までに目指す地域における脱炭素化実現のイメージ



II-4 地域レジリエンス対応の取組や新たな計画

軽米町におけるマイクログリッド構想

自営線により太陽光発電と蓄電池を併用したシステムを活用して、エネルギーの地産地消を図るとともに、災害時などの非常時にも再エネ電力を活用できる災害にも強い町づくりを目指す。

